

平成 29 年度
学校関係者評価報告書

平成 30 年 7 月

学校法人八文字学園

 専門学校水戸ビューティカレッジ



■平成 29 年度 学校関係者報告書

学校法人八文字学園専門学校水戸ビューティカレッジは、学校評価に関する関連法令等に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、「平成 29 年度自己点検評価報告書」（平成 30 年 2 月作成）を基本にした学校関係者評価を実施しましたので、下記の通り報告します。

今後も、学校関係者評価の結果を踏まえ、学校関係者と連携、協力し、教育水準の向上、学校運営の改善、強化に取り組んで参ります。

1. 対象期間

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

2. 学校関係者評価委員

氏名	所属
赤上 喜久子	茨城県美容業生活衛生同業組合
堤 圭司	株式会社 堤理美容商事
今井 孝	タカラベルモント株式会社
松井 忠重	株式会社 ティーエム・プロジェクト
阿久津 佑介	美容室 フォーリア
笹目 千尋	美容室 アクセスマーン
井澤 卓司	株式会社 水戸警備保障
大部 昇	スカイブルー旅行センター株式会社
市村 一志	保護者
小林 一弘	保護者

3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 学校活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

■基準1 教育理念・目的

教育理念・目的が下記のように明確に定められ、わかりやすい表現で具体的に示されており、評価できる。

- ・美容に関する知識・技能を修得させ、あわせて社会人としての教養と豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成すること。
- ・美容の多様化、個性化に対応するためにメイク・ネイル・エステティック技術などトータルビューティの修得についても目指す。
- ・コンピュータ活用能力の修得などビジネス教育を通し、幅広い視野をもつ美容スタッフの育成を行う。

上記のように、専門教育を通じた人間性の育成が行われ、美容のあらゆる場面に対応することができるトータルビューティ教育及びビジネス教育も合わせて行われている点が評価できる。

■基準2 学校運営

- ・事業計画に基づいて、教育目標の実現を目指した学校運営がなされていると判断できる。
- ・学校運営方針は、目的・事業計画を基に策定され、年度初めにおいて全教職員に周知されていると判断される。
- ・学校運営に関する組織や意思決定機能は、学科ごとに目標達成しやすいように効率的になっている点が良い。

■基準3 教育活動

- ・理念および法令に沿って体系的なカリキュラム編成がなされている。学科においては、育成人材像や資格取得目標に沿った内容となっているが、業界のニーズ等と照らし合わせ、即戦力と成り得る人材育成の水準を鑑み、技術や業界の要求水準が時代と共に変化する中、限られた年限での到達レベルについて継続的な検討が必要である。
- ・学科ごとに企業や業界団体等が参画した教育課程編成委員会が設置されており、企業や業界の意見を参考にしながら、より実践的な教育方法が検討されていると判断できる。
- ・企業や業界等との連携体制を図りながら全学科において企業等と連携した授業が行われており、より実務型の職業教育が行われていることと判断される。
- ・授業評価のアンケートを踏まえ、更なる改善や工夫を行ない、教育の質的向上を図ってほしい。
- ・資格については、学科ごと目標資格が明確に定られており、組織的な指導体制の下、引き続き教育方法の研究をしながら、よりよい結果を出して行く様にしてほしい。
- ・教員の採用は、資格基準を中心として、技術・知識、経験、指導力、人間性等の面で要件を備えた人材の確保に努めており、妥当であると思われる。
- ・教員の研修については、専門分野の最新技術や知識、指導力などの研修を必要に応じて組織的に実施されていると判断されるが、更なる取組も必要である。



■基準4 学修成果

- ・就職については、進路指導部が中心となり、担任との連携のもとで計画的な指導が行われていることと判断される。その結果として、就職率においては毎年高い成果を出している点が評価できる。
- ・資格取得において、特に美容師国家試験については美容業に就くには必須であり、取得しないと仕事ができないため、受験者全員が合格できるように徹底した受験指導体制が図られるようにしてほしい。なお、毎年高い合格率を出しており評価できる。
- ・退学率の低減については、担任を中心として学生の状況を個々に把握し、学科全体でのサポート体制を取り、退学防止に努めていると思われるが、学生が多様化する中、その対応についてはさらなる支援策を検討する必要性があり、今後とも努力が必要である。
- ・卒業生の現状把握については、困難な面があるが、今後とも卒業生からの意見や評価を少しでも把握することで教育改善に活かしてほしい。

■基準5 学生支援

- ・就職については、進路指導部と担任が連携することで、計画的、組織的に指導する体制が整備されていると判断される。
- ・学生相談については、クラス担任制を取り常に学生と向き合うことで学業以外の諸問題にも対応できるようにしている点が良い。また、各学科の責任者が連携してフォローしていることは評価できる。
- ・学業特待生、資格特待性、学費の分割納入など、経済的に支援する制度がある。また、電車の定期券半額負担制度、一人暮らし支援制度、水戸駅からのスクールバス運行など学校独自の学生支援制度が整備されており、評価できる。更に、日本学生支援機構奨学金や各種の公的奨学金等の積極的な紹介や円滑な事務を心掛けて学生を支援していることも良い点である。
- ・学生への健康面への支援体制として、定期的な結核健康診断制度があり、毎年実施されている。学園姉妹校には看護師が常勤しており、必要に応じて健康相談できる体制が整っている点が良い。
- ・課外活動として、学校周辺の清掃活動、日赤血液センターにおけるネイルサービス、日立市における「ひたち国際大道芸」のフェイスペイントブース運営等のボランティア活動等が実施されており、学生のボランティア精神の育成に役立っていることと思われる。
- ・保護者との連携においては、学業成績、出席状況等が「成績通知書」として発送され、学習面、出席面について伝えられている。更に、進級時には三者面談（学生・保護者・担任）が実施され、学生のよりよい進路や学校における様子等について知ることができる。また、必要に応じて電話により報告・相談が行われ、生活面の改善に向けた連携が行われており心強い。
- ・卒業生に対しては、就職や国家試験対策等必要に応じて適宜フォローされている。

■基準 6 教育環境

- ・施設設備については、美容師養成施設として教育上必要な各実習室を含め整備されていると思われる。
- ・学外の企業実習については特に実施されていないが、採用が前提で内定している場合には状況に応じ適宜に個別実施されている。
- ・各種防災の安全指導體制が整備されており、消防設備等の定期点検が行われている。なお、給湯ボイラーの設置があり注意を要するが使用方法について手順を明示し使用方法について周知徹底している。定期的な防災訓練の実施については、今後検討を要する。

■基準 7 学生の受け入れ募集

- ・学生の募集広報活動における内容や説明表現については、教育内容や就職状況、資格取得実績等を基に、真実性、透明性、公平性、法令遵守において、担当の広報事業部が十分な注意を払うとともに、入学希望者に対して分かりやすく適切な判断材料が提供されるように配慮されており評価できる。
- ・活動内容としては、ホームページ、オープンキャンパス、見学会、学校説明会等を通して入学希望者に対して適切な入学情報が提供されていると判断される。
- ・学納金として、各学科における入学金、授業料、実習費等について、教育内容や教育環境に照らして妥当な水準であると思われる。

■基準 8 財務

- ・財務諸表の通り、学園の財務基盤は安定していると判断される。今後も学生数の確保を図り、継続して中長期的な財務基盤の安定に努めていくことが必要である。
- ・授業年度開始に当たって作成する予算に対し、適宜補正予算を組むなど、予算の編成および執行は適正に実施されており、妥当である。
- ・会計監査は、関連法規により公認会計士および監事により適正に行われている。
- ・財務情報については、理事会の承認を得るとともに、ホームページに「資金収支計算書」、「貸借対照表」として公開されている。また、事務局に備えられている。

■基準 9 法令等の遵守

- ・法令や設置基準の遵守については適正に行われていることと判断される。また、法令等による指定学科についても、その指定基準ならびに改正点等に適正に対応している。
- ・個人情報の保護については、「個人情報管理規定」が策定され、個人情報の適正な管理運用に努められている。今後もより一層対策を強化し、個人情報の保護に留意していただきたい。
- ・自己評価については、定期的な評価を通して問題点を明らかにするとともに、その対



策および改善策が検討されている。

- ・自己評価結果については、報告書としてホームページ上に公開されている。

■基準 10 社会貢献・地域貢献

- ・ボランティア活動としては、奉仕の精神、道徳心を養うことを目的に学校周辺の清掃活動が定期的に行われており、地域貢献が図られていると思われる。
- ・日本赤十字血液センターにおける献血協力者へのネイルサービスのボランティア活動が年間を通して実施されていることは評価できる。
- ・日立市における「ひたち国際大道芸」において、フェイスペイントのブース運営ボランティアが毎年5月に実施され、将来の接客対応の学習の機会としても活用できていることは良い点である。

■基準 11 国際交流

- ・留学生の受け入れは、行っていない。

以 上

学校法人八文字学園 専門学校水戸ビューティカレッジ
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-14-14
